

教科名	地理歴史	科目名	世界史A	履修学年	中学・ 高校	2年	1	組	組	
単位数	2	使用教科書 教材等	山川出版社『詳説世界史』・山川出版社『授業用詳説世界史整理ノート』							
担当者	高橋 美穂		第一学習社『グローバルワイド最新世界史図表 三訂版』 近鳥書店『要旨整理ゼミナール世界史』 宇教出版『五訂必携世界史中田』							
学習目標	古代より中世までの通史を学習することにより、1年次で学習した近代史の背景をよく理解するとともに、文系コースを選択した生徒であることを前提に、受験科目として世界史を選択しても遜色ないようなレベルの授業を行い、理解度を深めることを目標とする。									
学習内容	1学期・・・主に西洋の古代文明と、それに連なる国家の形成、新思想の出現などを扱う。 2学期・・・主に東洋の古代文明と、それに連なる国家の形成、新思想の出現などを扱う。 3学期・・・主にイスラーム世界の形成を扱う。									
授業方法	講義形式の授業を中心とする。学習範囲に応じて問題集で復習し、確認させる。また、思考力を養うために、資料読解や論述問題等に取り組みせていく予定である。									
備考	評価については、定期考査の得点に平常点（課題の得点など）を加味して算出する。									
授業計画										
学期	月	学習内容・単元等							区分1 評価	区分2 評価
1学期	4月	序章 先史の世界							1学期 中間考査	
		第1章 オリентと地中海世界								
	5月	古代オリент世界								
		ギリシア世界								
	6月	ローマ世界							1学期 期末考査	
	7月									
	8月									
2学期	9月	第2章 アジア・アメリカの古代文明 インドの古典文明 中国の古典文明							2学期 中間考査	到達度 確認テスト
	10月	第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成							2学期 期末考査	
	11月	草原の遊牧民とオアシスの定住民 北方民族の活動と中国の分裂 東アジア文化圏の形成								
	12月									
3学期	1月	第4章 イスラーム世界の形成と発展 イスラーム世界の形成							学年末 考査	到達度 確認テスト
	2月	イスラーム世界の発展 インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化 イスラーム文明の発展								
	3月									

教科名	地理歴史	科目名	世界史A	履修学年	中学・ 高校	2年 3・4・8	組	
単位数	2	使用教科書 教材等	山川出版社『詳説世界史』・山川出版社『授業用詳説世界史整理ノート』					
担当者	本間・高橋		第一学習社『グローバルワイド最新世界史図表 三訂版』 近鳥書店『要旨整理ゼミナール世界史』 宇教出版『五訂必携世界史中田』					
学習目標	古代より中世までの通史を学習することにより、1年次で学習した近代史の背景をよく理解するとともに、文系コースを選択した生徒であることを前提に、受験科目として世界史を選択しても遜色のないようなレベルの授業を行い、理解度を深めることを目標とする。							
学習内容	1学期・・・主に西洋の古代文明と、それに連なる国家の形成、新思想の出現などを扱う。 2学期・・・主に東洋の古代文明と、それに連なる国家の形成、新思想の出現などを扱う。 3学期・・・主にイスラーム世界の形成を扱う。							
授業方法	講義形式の授業を中心とする。学習範囲に応じて問題集で復習し、確認させる。							
備考	評価については、定期考査の得点に平常点（課題の得点など）を加味して算出する。							
授業計画								
学期	月	学習内容・単元等					区分1 評価	区分2 評価
1学期	4月	序章 先史の世界					1学期 中間考査	
		第1章 オリエントと地中海世界						
	5月	古代オリエント世界						
		ギリシア世界						
	6月	ローマ世界					1学期 期末考査	
	7月							
	8月							
2学期	9月	第2章 アジア・アメリカの古代文明 インドの古典文明 中国の古典文明					2学期 中間考査	到達度 確認テスト
	10月	第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成					2学期 期末考査	
	11月	草原の遊牧民とオアシスの定住民 北方民族の活動と中国の分裂 東アジア文化圏の形成						
	12月							
3学期	1月	第4章 イスラーム世界の形成と発展 イスラーム世界の形成					学年末 考査	到達度 確認テスト
	2月	イスラーム世界の発展 インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化 イスラーム文明の発展						
	3月							
合計55時間＋定期考査5時間								

教科名	地理歴史	科目名	日本史 B	履修学年	中学・ 高校	2年 文系全クラス 組		
単位数	週あたり4時間	使用教科書 教材等	山川出版社「詳説日本史」 浜島書店「新詳日本史」、「ゼミナール日本史」 東進ブックス「日本史B一問一答」					
担当者	堀内・増尾							
学習目標	日本の歴史の学習を通して、現代社会の成り立ちと人類が今後歩むべき方向について考えさせると同時に、進学に際して必要な知識を習得させる。							
学習内容	旧石器時代から天保の改革・雄藩の浮上までの歴史について学習する。							
授業方法	講義形式で行う。飛鳥時代以降の授業では、主として各時代の政治・外交・経済・産業等について扱う（文化史については進度に応じて各学期終了後に実施される講習において指導する場合もある） 単元ごとに宿題形式の課題を課す。また、成績不振者および希望者には、放課後や昼休み等に小テストを実施する。							
備考	評価は、定期考査の得点に平常点（課題の得点・授業態度・小テストの得点など）を加味して算出する。							
授業計画								
学期	月	学習内容・単元等					区分1 評価	区分2 評価
1 学期	4 月	人類の出現と旧石器時代 縄文時代の社会と文化 弥生時代の社会と文化、小国の分立と邪馬台国連合					1 学期 中間 考査	第1 回 到達 度 確 認 テ ス ト
	5 月	古墳とヤマト政権 飛鳥の朝廷、大化改新、律令国家への道、飛鳥文化、白鳳文化 大宝律令と官僚制、民衆の負担、天平文化						
	6 月	平城京の時代、平安王朝の形成、弘仁・貞観文化 摂関政治、地方政治の展開と武士、国風文化 院政と平氏の台頭、院政期の文化					1 学期 期 末 考 査	
	7 月	源平の争乱						
	8 月							
2 学期	9 月	鎌倉幕府の成立 武士の社会 蒙古襲来と幕府の衰退、鎌倉文化					2 学期 中間 考査	第2 回 到達 度 確 認 テ ス ト
	10 月	室町幕府の成立 幕府の衰退と庶民の台頭(惣村の形成、幕府の動揺と土一揆、応仁の乱と国一揆) 幕府の衰退と庶民の台頭(産業)、室町文化						
	11 月	戦国大名の登場 織豊政権、桃山文化 幕藩体制の成立					2 学期 期 末 考 査	
	12 月	幕藩社会の構造、寛永期の文化						
3 学期	1 月	幕政の安定、経済の発展 元禄文化					学 年 末 考 査	
	2 月	幕政の改革 幕府の衰退と近代への道 宝暦・天明期の文化、化政文化						
	3 月							

教科名	地 理 歴 史	科目名	地 理 A	履修学年	高 校	2 年	2, 5, 6, 7, 9, 10, 11 組	
単位数	2 単位	使用教科書 教材等	教 材 副教材	新詳細理B (帝国書院) 新詳高等地図 (帝国書院)				
担当者	矢口 (陽)			新詳地理資料 COMPLETE (帝国書院)				
学習目標	社会の「諸現象」を自然・社会環境の点から考え、「諸現象」を地理的な見方や考え方から理解できるよう指導する。							
学習内容	世界のさまざまな自然（地形や気候など）を理解させ、この環境の上に見られる人間活動である農業や鉱工業、生活文化、そして都市や村落などの様子について説明していく。							
授業方法	各単元は教科書の流れで進み、副教材や統計資料を参考に関連する内容を加え進めていく。説明のときは生徒の身近な例を取り上げ理解できようにする。							
備 考	各学期の定期考査を基準として、平常点（課題提出など）を加算する。							
授業計画								
学期	月	学習内容・単元等					区分 1 評価	区分 2 評価
1 学期	4 月	・現代世界の地図	・GIS（地理情報システム）によるデジタルマッピングについて利活用の方法を説明し理解させる。				（1 学期 中間考査） 1 学期 期末考査	
	5 月	・世界の地形	・世界の大地形の特徴とそれを形作る要因となったメカニズムについて説明し理解させる。					
	6 月	・世界の地形	・世界の小地形や氷河・乾燥・カルスト地形の特徴とそこで生活する人々の様子や農業について理解させる。					
	7 月	・世界の気候	・各気候区分方法と気候要素・気候因子について説明し理解させる。					
	8 月							
2 学期	9 月	・世界の気候	・ケッペンの気候区分によるそれぞれの気候の特徴、分布する土壌・植生について説明し理解させる。				（2 学期 中間考査） 2 学期 期末考査	
	10 月	・環境と農林水産業	・国内外の環境問題とホイットルセイの農業区分によるそれぞれの農業地域の特色を説明し理解させる。					
	11 月	・鉱工業と貿易	・国内外の鉱工業の現状や世界的な貿易の現状、国際分業体制について説明し理解させる。					
	12 月	・第3次産業	・国内外の商業・サービス業、観光業、情報通信産業の現状について説明し理解させる。					
3 学期	1 月	・人口と都市・村落	・国内外の人口問題や都市の成り立ち、村落形態について説明し理解させる。				学 年 末 考 査	
	2 月	・衣食住	・世界の生活様式の差異や民族言語の分布、多文化共生について説明し理解させる。					
	3 月							